

社員も会社も地域も「健幸」になる！健康経営トライアル事業

取組に至る背景・事業の目的

「健康経営」は企業にとっては新たな事業戦略として、また人材確保という面からも注目されている。社員が健康で働くことができれば、職場全体のモチベーションの向上、生産性の向上、更には家族の幸せや地域の活性化へと繋がっていくことから、本事業では、企業、医療関係機関、地域、行政、各種関係機関・団体等と連携をとり、信州 ACE プロジェクトの内容を取り入れながら、多くの企業が「健康経営」を導入できる仕組みを作っていく。

事業内容

- 企業において健康の大切さの周知と「健康経営」の仕組みづくりのために国等が推進している「健康経営優良法人認定制度」取得企業を増やすためのセミナーを2回開催。
- 従業員や地域の住民に健康であることの素晴らしさや体を動かすことの楽しさを知ってもらうために、大芝高原セラピーロードでウォーキングイベントを開催。
- 仕事の業種によって体の疲れ方や疲れる場所が違うことから、それぞれにあったストレッチを取り入れることでより仕事の効率が上がるストレッチを考案。



【健康ウォーキング】

事業効果

- セミナー開催により、「健康経営」への関心が高まり、参加者アンケートでは64%の人が今後取り組みたいという結果であった。
- 「健康づくりチャレンジ宣言」企業2社→10社
「健康経営優良法人2019認定」企業2社→7社
- ウォーキングイベントでは92名の参加があり、企業だけではなく、地域の人達にも健康の大切さを周知することができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 取組や導入に関するセミナーでは、すでに取り組み始めている企業、すでにセミナーへ参加したことのある企業では、情報の重複部分が多く、参加者を募るのが難しくなった。
- 中小企業では健康の重要性はわかっているが、他に優先すべきことがあり、すぐに取り組むことが困難であり、理解していただくことが難しい。
- 健康アドバイザーの活用により、申請の支援ができ、認定企業増につながった。
- ウォーキングと癒しブース（マッサージ、アロマ等）を設置したため、参加者がより一層楽しむことができた。
- ウォーキングでは参加者と一般の方と区別をつけるため、シールタイプのワッペンを作成。明るい色だったので、見分けやすかった。
- 大きな企業ほど、健康経営の取組やストレッチを全体に一気に広報するのが難しい。また、外部と内部に分かれる業種では、広報の仕方がわかりにくい。
- 今後は、ストレッチ動画の作成で広報する案が出た。

【選定のポイント】

女性の意見を多く取り入れた企画を実施し、企業が「健康経営」の重要性を認識するきっかけづくりを行ったことにより、「健康づくりチャレンジ宣言企業」及び「健康経営優良法人認定企業」を大幅に増加させるとともに、地域住民へも健康づくりの大切さを周知することができた。今後の事業の継続・発展が期待される。

団体名	伊那商工会議所女子会プロジェクト (伊那市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	伊那商工会議所総務振興課 0265-72-7000	事業費	952,759円
		支援金額	762,000円